

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 18 日現在

機関番号：10101

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2013～2016

課題番号：25301037

研究課題名 (和文) 東アジアにおける宗教多元化と宗教政策の比較社会学的研究

研究課題名 (英文) Comparative Sociological Studies of Religious Diversity and Religio-Political Relations in East Asia

研究代表者

櫻井 義秀 (Sakurai, Yoshihide)

北海道大学・文学研究科・教授

研究者番号：50196135

交付決定額 (研究期間全体)：(直接経費) 13,300,000 円

研究成果の概要 (和文)：本研究では、宗教多元化への政策的対応と各国の宗教団体ごとの対応を調べた上で諸宗教の共生の道筋を探り、東アジア地域の政治的安定や共生可能な市民社会形成のモデル作りに寄与することをめざし、日本・韓国・中国・台湾・香港・モンゴル・タイにおける宗教多元化状況とそれに対応した宗教政策の動きを調査した。

その結果、宗教統制国家である中国、公認宗教制のタイ、宗教自由市場が成立しキリスト教が優位の韓国・香港、仏教が活性化している台湾・モンゴル、宗教の世俗化が著しい日本の宗教道と政教関係についてまとめ、櫻井義秀編『中国の宗教変動 アジアのキリスト教』北海道大学出版会、A5判全453頁を刊行した。

研究成果の概要 (英文)： This study aims to consider how religions coexist and engage in forming political security and civil society in Asia, conducting the research of government's and religions' response toward religious diversity. More specifically, we focused on the policy making on religious diversity in Japan, Korea, China, Taiwan, Hong Kong, Mongolia, and Thailand.

Finally we published the book, Yoshihide Sakurai eds., Religious Change in China and Christianity in Asia, Hokkaido University Press, 2017 453 pages in total, in which we recognize the diversity of policy to religions: rigid controlled religions in China, authorized religions in Thailand, established free religious market with strong Christianity in Korea and Hong Kong, Buddhist restoration in Taiwan and Mongolia, and depopulation and secularization in Japanese religions.

研究分野：宗教社会学 アジア宗教文化論

キーワード：宗教多元主義 宗教政策 東アジア 比較社会学 宗教復興 キリスト教 仏教 中国

1. 研究開始当初の背景

越境する宗教文化や国内の宗教文化の動きは欧米社会に宗教多元化状況をもたらしたが、それに対処する政教関係の構築には市民の宗教意識とナショナリズム、共生の作法を探る市民運動や国家のガバナンスが関係する。現代の東アジアにおいてもこのような課題が生じている。近年、宗教多元主義を具体的な宗教政策や市民社会の意識形成に関わらせる研究が国際的な宗教社会学のテーマである。

2. 研究の目的

宗教多元化への政策的対応と各国の宗教団体ごとの対応を調べた上で諸宗教の共生の道筋を探り、東アジア地域の政治的安定や共生可能な市民社会形成のモデル作りに寄与することが本研究の遠大な目標として掲げた。具体的には、2010-12年度に実施したポストグローバル時代に入った東アジアの宗教文化変動の実態調査を踏まえて、日本・韓国・中国・台湾・香港・モンゴルの宗教多元化状況とそれに対応した宗教政策（非介入の政策含む）の動きを調査し、東南アジアのタイとも対照させながら地域的特質を明らかにする。さらに、多文化の共生を保障する法制度と政教関係の構築過程を市民社会形成に位置づけて、宗教多元主義の問題を民主化や地政学的安定化の問題解決に接続することを目的とした。

3. 研究の方法

東アジアの諸国（日本・韓国・中国・台湾・香港・モンゴル・タイ）を調査対象地と定め、現地の大学・研究機関・協力研究者と共同で調査を実施する。

調査項目は下記の通り。

(1) 東アジア社会における社会階層の変動と宗教に関して 東アジア的階層概念の工夫し、東アジア特有の階層連関を考察、そして 6カ国の階層変動と宗教変動との相関を傍証する資料や事例の調査、及び5カ国共通の質問紙による質問紙調査を行い、比較研究を行う。

(2) 東アジア社会における政教関係と宗教政策に関して 7ヶ国の政教関係の歴史的考察と現状把握、宗教活動の政治的機会構造の検し、宗教団体が自主的に行う社会事業と政府が宗教団体に期待する社会貢献の比較し、トランスナショナルな宗教への対応を法的枠組みと統制事例から検討する。

(3) 宗教多元主義への包括的対応に関して、エスニック集団や宗教運動間における共生の論理と作法、宗教団体の多元主義的要求への政策的対応、宗教統制国家と政教分離型リベラリズムの国家間の調整論理と施策を検討する。

4. 研究成果

研究代表者・分担者はそれぞれのテーマで個別研究を行い、成果発表等を行ったが、ここでは全体の研究打ち合わせ・調査・国際ワークショップ・研究成果刊行のみ記載する。

(1) 2013年度の研究成果は次の通り。

研究打ち合わせと成果発表を兼ねて下記の4つの国際ワークショップや国際学会において集会とテーマセッションを持った。国際宗教社会学会のフィンランド、トゥルク大会における「アジアの宗教多元化と政教関係への視点」、台湾中央研究院を訪問し、北海道大学のメンバーと「21世紀の宗教運動」、ソウル大学と北海道大学の合同セミナーにおいて「日本社会の個人化と寺院仏教」、

香港アジア社会学研究会大会において「東アジアにおける近代と比較宗教社会学的課題」と題するテーマセッションの開催によって、当該地域の研究者と科研メンバーによる学術交流と現時点における研究成果発表を行った。

(2) 2014年度の研究成果は次の通り。

本年度の顕著な研究成果は、櫻井義秀・外川昌彦・矢野秀武編、2015、『アジアの者会参加仏教 政教関係の視座から』北海道大学出版会、A5判全437頁、を刊行したことである。同書は、「宗教と社会」学会創立20周年記念企画テーマセッションから生まれたものであるが、本計画の基本的なテーマに沿った論文を収録することができた。その他、研究代表者・分担者友に国内外で研究発表を行い、日中社会学会においては香港アジア社会学会との共同で中国宗教研究のセッションを開催した。

(3) 2015年度の研究成果は次の通り。

最終年度は研究成果発表と各人の調査研究の取りまとめを併行して行った。全体的な成果発表として、まず、前年度刊行した書籍の書評セッションを宗教の社会貢献研究会で行い、書評論文とリプライを『宗教の社会貢献』5-2:101-151におさめた。また、7月にルーヴァン大学で開催された国際宗教社会学会において海外共同研究者のWei-hsian Chi 台湾中央研究院上級研究院と東アジアの社会参加型宗教についてテーマセッションを持ち、翌年3月に北海道大学において開催の国際ワークショップ「東アジアにおける宗教的多様性と政教関係」を開催し、台湾2名、オーストラリア1名、国内3名から研究発表を得て討議を行った。

(4) 2016年度の研究成果は次の通り。

2017年3月に、櫻井義秀編『中国の宗教変動 アジアのキリスト教』北海道大学出版会、A5判全453頁を刊行した。この年度は、本書籍の編集に専念した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 23 件)

TAJIMA Tadaatsu, 'Ethnic Buddhist Temples and Korean Diaspora in Japan', JOCBS May 2016 (in print), 査読無

川田進, 宗教政策と宗教文化に関する JSPS 科研費海外調査報告 (2012 年度 ~ 2013 年度), 大阪工業大学紀要、査読有、60(2)、2016、13-35

櫻井義秀, 傾聴する仏教、宗教と社会貢献、査読有、5(1)、2015、29-53

中村則弘, 環境社会の文明論的視角と歴史からみた中国・アジアの価値意識、日中社会学研究、日中社会学会、査読有、第 23 号、2015、28-35

首藤明和, 内モンゴルの環境をめぐる問題と現状打開に向けた試み 錫林郭勒盟東烏珠穆沁旗 H 合作社の事例、日中社会学研究、査読有、第 23 号、2015、5-20

首藤明和, チャイニーズネスを構成する「言説の資源」「地域」「歴史の逆説性」 四大イスラーム漢文訳著家・馬注と雲南回族の「共生の作法」から、日中社会学研究、査読有、第 23 号、2015、36-44

寺沢重法, 理系は非宗教的か? JGSS-2002 の分析、藤女子大学人間生活学部紀要、査読有、52、2015、13-28

Terazawa, Shigenori and Ka-Shing Ng, "Religious Affiliation and Social Stratification in Taiwan (2000-2010): Analysis of Taiwan Social Change Survey" *Journal of the Graduate School of Letters*, 査読有、10、2015、59-70

寺沢重法, 「泛藍陣営」非支持者は日本統治時代を肯定的に評価しているのか? TSCS-2003(II)の分析、北海道大学文学研究科紀要、査読無、145、2015、47-77

伍嘉誠・寺沢重法, 香港における高齢者の主観的ウェルビーイングにおける宗教の役割 一貫道の高齢信徒へのインタビュー調査から、宗教と社会貢献、査読有、5(1)、2015、1-27

寺沢重法, 東アジアにおける大規模宗教調査データの蓄積 「台湾社会変遷基本調査」を事例として、宗教と社会、査読有、21、2015、65-72

寺沢重法, 台湾における宗教性とボランティア活動 台湾社会変遷基本調査の分析、北海道大学文学研究科紀要、査読無、146、2015、295-317

Terazawa, Shigenori, "Multi-Dimensional Religiosity and Volunteering in Contemporary Taiwan: Analyses of the Taiwan Social Change Survey", *Asian Journal of Social Science*, 査読有、43(4), 2015, 466-487 (SSCI, および Scopus 収録雑誌; 5 年間インパクトファクター: 0.349; Ranked #49 (out of 65) in the 'Area Studies' and #81 (out of 95) in the 'Social Sciences, Inter Disciplinary' subject category according to Journal Citation Reports 2014, トムソンロイター社刊)

寺沢重法, 現代台湾において日本統治時代を肯定的に評価しているのは誰か? 「台湾社会変遷基本調査」の探索的分析、日本台湾学会報、査読有、17、2015、226-240

寺沢重法, 慈済会所属者の族群と社会階層は多様化しているのか? TSCS-1999/2004/2009 の分析、宗教と社会貢献、査読有、5(2)、2015、27-42

寺沢重法, 『宗教と社会貢献』の研究動向の概要、宗教と社会貢献、査読有、5(2)、2015、43-57

中村則弘, グローバリズムとチャイニーズネスにかかわる分析視角 国民概念をこえたオルタナティブな枠組み、日中社会学研究、日中社会学会、査読有、第 22 号、2014、1-5

中村則弘, 底辺階級からみる中国 グロテスクさに可能性を求めて、中国 21、愛知大学現代中国学会、査読無、Vol.40、2014、101-116

川田進, 毛沢東から胡錦濤時期における中国共産党の宗教政策とチベット政策、大阪工業大学紀要、査読有、59(1)、2014、25-54

寺沢重法・横山忠範, 「死後の世界を信じること」と幸福感 JGSS-2008 の分析、宗教と社会貢献、査読有、4(2)、2014、1-25

② 中村則弘, 民衆世界の復権と東アジア共同体のオルタナティブ、日中社会学研究、

日中社会学会、査読有、第 21 号、2013、19-26

②中村則弘、両義性と流動性からみるオルタナティブな社会、21 世紀東アジア社会学、日中社会学会、査読無、第 5 号、2013、71-90

③寺沢重法、現代日本における宗教と社会活動 - JGSS 累積データ 2000-2002 の分析から -、日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集、査読有、13、2013、129-140(大阪商業大学 JGSS 研究センター「JGSS 公募論文 2012」優秀論文受賞論文、2012 年 6 月 9 日)

[学会発表](計 21 件)

櫻井義秀、「現代宗教研究の課題と展望 - 日本・東アジアから」、東アジア宗教研究フォーラム基調講演、2016 年 2 月 20 日、済州大学、韓国

櫻井義秀、「进行“倾听”的现代日本佛教-应对社会需求的临床宗教的尝试」、第三屆星雲大師人間佛教理論實踐學術研討會南京大學中華文化研究院主辦 佛光山人間佛教研究院協辦、2015 年 3 月 21 日、佛光祖庭宜興大覺寺、江蘇省宜興、中国

櫻井義秀、「アジアの社会参加仏教」テーマセッション「東アジアの宗教をどう見るか」、日中社会学会、2015 年 6 月 7 日、北海道大学、(北海道札幌市)

櫻井義秀、「カルト問題を開拓してきて」テーマセッション「ポストオウム研究の課題と展望 地下鉄サリン事件 20 年の地点から」、宗教と社会学会、2015 年 6 月 14 日、東京大学、(東京都文京区)

Yoshihide Sakurai, 'Active Listening and Well-being in Japan: Secularization of Engaged Buddhism to Heal Isolated People,' ISSR/SISR, 2015 年 7 月 2-5 日, Leuven University, Leuven la neuve, Belgium

Yoshihide Sakurai and Wei-hsian Chi, 'Religious Engagement to promote Well-being in Contemporary East Asia,' STS 25, ISSR/SISR, 2015 年 7 月 2-5 日, Leuven University, Leuven la neuve, Belgium

櫻井義秀、(コメンテーター)「ジェーム

ズ・ベックフォード、ホセ・カサノヴァ氏への応答」、日本宗教学会第 74 回学術大会公開シンポジウム「宗教の未来 宗教学の未来」、2015 年 9 月 4 日、創価大学、(東京都八王子市)

SAKURAI Yoshihide, 'Buddhism and Modernity in Thailand: The Case Studies of Development Monks in Northeastern Thailand,' panel on 'Secularization and laicisation'in Asia 日本宗教学会開催校特別企画英語パネル、2015 年 9 月 5 日、創価大学、(東京都八王子市)

中村則弘、「両義性、流動性及其代替方案: 全球化時代亞洲的提問」、全球化・個体化時代の中国社会和文化學術研討会、2015 年 10 月 17 日~18 日、南京大学社会学院、中国

TAJIMA Tadaatsu & Lee Hyungyung, 'A Newly Established Ethnic Buddhist Temple for 'Being Korean in Japan', 33rd ISSR/SISR Conference, 2015 年 7 月 2-5 日, Leuven University, Luven-La Neuve, Belgium

TAJIMA Tadaatsu, 'Ethnic Buddhist Temples and Korean Diaspora in Japan', Oxford Centre for Buddhist Studies, 2015 年 11 月 23 日, Wolfson College, Cambridge, UK

SHUTO Toshikazu, 'The Cross - Border Mobility Yielding the Emergent Property,' The Special Japan-China Joint Panel organized by China Sociological Society, 2015 年 7 月 11 日, Central South University, 湖南省長沙市, 中国

首藤明和、「Chineseness 的构成要素: 言说的资源、地域和逆境的历史之力」、中国社会学会日中社会学会専門委員会、2015 年 10 月 17 日、南京大学、江蘇省南京市、中国

Terazawa, Shigenori, "Is Fatalism Related to a High Level of Subjective Well-Being in Japan?", 1st East Asian Conference for Young Sociologists, 2015 年 2 月 2 日, Yoinsei University, Seoul, Republic of Korea, (Oral Presentation)

川田進、「チベット仏教の中台交流と中国共産党の宗教政策」、日本宗教学会、2014 年 9 月 13 日、同志社大学、(京都府京都市)

川田進、「中国共産党の宗教政策から見た
ラルン五明仏学院の動向」『宗教と社会』
学会、2013年6月15日、皇學館大学、
(三重県伊勢市)

SHUTO Toshikazu, 'The Hui People's
Religion practices and China,' The 9th
Annual Conference of The Asian
Studies Association of Hong Kong
(ASAHK), 2014年3月13日-14日, Hong
Kong Univ., Hong Kong

Terazawa, Shigenori and Ka-Shing Ng,
"Religious Participation and Happiness
in Hong Kong", Joint Workshop on
Contemporary Social and Cultural
Change in Taiwan and Japan in 2014,
2014年9月28日, Hokkaido University,
Sapporo, Japan, (Oral Presentation)

Sakurai, Yoshihide and Shigenori
Terazawa, "Change of East Asian
Religion in Post-globalization Era",
The 1st SEFM International Workshop
on Social Change and Religious
Transformation in East Asia, 2013年3
月2日, Hokkaido University, Sapporo,
Japan, (Oral Presenttation)

Terazawa, Shigenori,
"Multidimensional Religiosity and
Volunteering in Taiwan", The 32nd
Congerence International Society for
the Sociology of Religion, 2013年6月
28日, University of Turku, Turku-Abo,
Finland, (Oral Presenttation).

② Nakamura Norihiro, 'Chineseness
under the Globalism Age'
and 'Alternative Development Scheme
from Asian Perspective with an
Emphasis on Mandalas and Chaos',
International Workshop: East Asian
Perspective and Alternative
Development, 2013年3月25日, École
normale supérieure of Lyon, Lyon,
France

〔図書〕(計 6件)

櫻井義秀編、北海道大学出版会『中国の
宗教変動 アジアのキリスト教』、2017、
453

櫻井義秀・川又俊則編、法蔵館、『人口減
少社会と寺院 ソーシャル・キャピタル
の観点から』、2016、425

櫻井義秀・平藤喜久子編、ミネルヴァ書
房、『よくわかる宗教学』、2015、216

櫻井義秀編、北海道大学出版会、『カルト
からの回復 - こころのレジリアンス』
2015、402

櫻井義秀・外川昌彦・矢野秀武編、北海
道大学出版会、『アジアの社会参加仏教 -
政教関係の視座から』2015、437

川田進著、北海道大学出版会、『東チベッ
トの宗教空間 中国共産党の宗教政策
と社会変容』、2015、452

〔その他〕
ホームページ等
<https://sakurai.cambria.ac/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

櫻井 義秀 (SAKURAI Yoshihide) 北海道
大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：50196135

(2) 研究分担者

田島 忠篤 (Tajima Tadaatsu) 天使大学
・看護栄養学部・教授
研究者番号：40179693

稲場 圭信 (Inaba Keishin) 大阪大学・
人間科学科・教授
研究者番号：30362750

中村 則弘 (Nakamura Norihiro) 長崎大
学・多文化社会学部・教授
研究者番号：10192676

首藤 明和 (Shuto Akikazu) 長崎大学・
多文化社会学部・教授
研究者番号：60346294

川田 進 (Kawata Susumu) 大阪工業大
学・教授
研究者番号：10288756

寺沢 重法 (Terazawa Shigenori) 北海道
大学・大学院文学研究科・助教
研究者番号：60632156